

# PassLogic リビジョンアップガイド

安全かつ確実なシステム更新のためのステップ・バイ・ステップ

本書は特定のバージョンに依存しない汎用手順書です。

文中の「X.Y.Z」は、各リリースのバージョン名およびリビジョン番号に読み替えてご使用ください。



# リビジョンアップファイルの適用について

## 1. PassLogicリビジョンアップの特性(累積修正)

- リビジョンアップファイルには、過去の修正内容が累積して含まれています。
- リビジョンアップファイルを適用すると、未適用の修正を一括で反映できます。

## 2. 適用の原則: 特定リビジョンのみの抽出適用はできません

- リビジョンアップファイルから特定リビジョンのみを抽出して適用することはできません。
- 抽出して適用した場合、動作保証の対象外となります。

## 3. リビジョンアップの履歴を確認する方法

以下のサポートページより詳細をご確認いただけます。

[PassLogic サポート情報](#)

※「PassLogic エンタープライズ版 リビジョンアップ(ent-5.0以降)」セクション-「修正内容」を参照

# リビジョンアップ: 2つのシナリオ

## ケース1

PassLogicを新規に  
インストールしてから  
リビジョンアップを  
適用



インストール→  
リビジョンアップを  
連続して行います

## ケース2

既存のPassLogicに  
リビジョンアップを  
を適用



リビジョンアップを適用

# 各パッケージの主な内容物

## インストールパッケージ



**ent-X.Y.0.zip** (X.Y = バージョン名)



**docs/**

マニュアル一式 (※インストールガイド  
1-1.passlogic\_install\_guide\_ent.pdf 含む)



**PassLogic-ent-X.Y.0-el9(8).tar.gz**

PassLogicインストーラ (※el9/8は対応OS  
RHEL9/8を指す)

## リビジョンアップファイル



**passlogic-ent-X.Y.ZRev.zip**

(X.Y.Z = バージョン名 + リビジョン番号)



**PassLogic-ent-X.Y.Z-el9.tar.gz**

リビジョンアップファイル



**RevisionUp-ent-X.Y.Z.txt**

リビジョンアップ手順説明書  
(再起動が必要なサービスなどの重要  
事項を記載)



# 全体共通の事前準備チェックリスト

1

## サービス停止 時間の調整



リビジョンアップ後、サービス再起動が必要となる場合があります。

※必要可否と対象サービスは、同梱の手順説明書 (RevisionUp-ent-X.Y.Z.txt) に従ってください。

2

## ファイルの サーバー転送



対象サーバーへ必要なZIPファイルをアップロードします。

インストーラ／リビジョンアップファイルは、その他ユーザーがアクセス可能なディレクトリに転送してください(例: /usr/local/src/)。/root/ 配下では正常に動作しません。

3

## 【重要】データ バックアップ



※ケース2 (既存環境) のみ必須。

作業前に必ずインストールガイド (1-1.passlogic\_install\_guide\_ent.pdf) の「バックアップ」項を参照し、システム状態を保存してください。

## シナリオ別 必要要件・工程比較マトリクス

	ケース1：新規インストール＋リビジョンアップ適用	ケース2：既存環境へのリビジョンアップ適用
対象環境	PassLogic新規構築サーバー	稼働中のPassLogicサーバー
アップロードが必要なファイル	PassLogicインストーラ(tar.gz) ＋ リビジョンアップファイル(tar.gz)	リビジョンアップファイル(tar.gz)
事前データバックアップ	不要	必須 ⚠
主要な作業ステップ	ベース構築 →PassLogicインストール →リビジョンアップ適用	リビジョンアップ適用

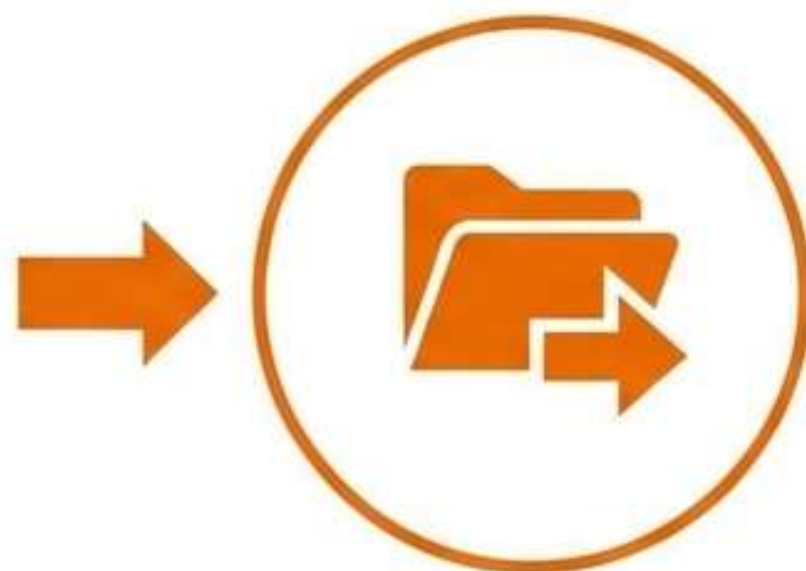


# 作業フロー（ケース1：新規インストール）



## 1. ベース環境構築

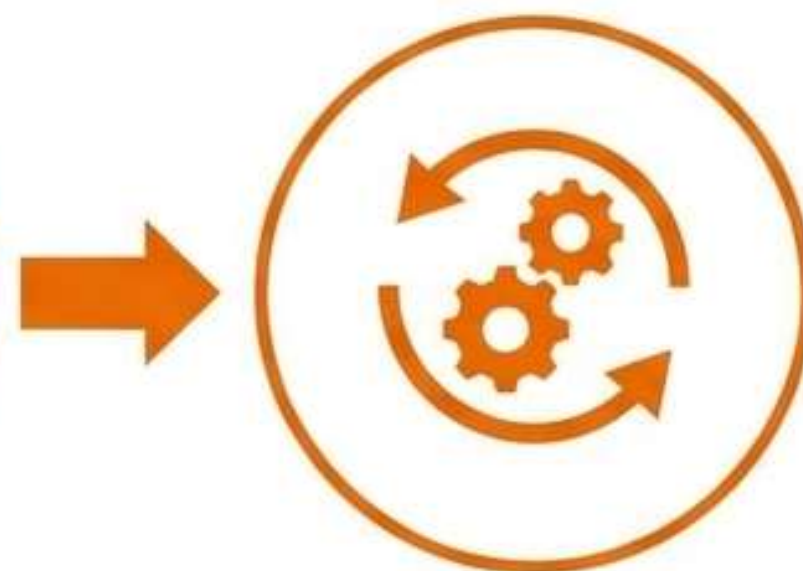
- 必要なパッケージのインストール
- SELinuxの無効化
- タイムゾーン変更など



## 2. PassLogicインストール実行

```
./install.sh install
```

インストーラを解凍したディレクトリで実行します。



## 3. リビジョンアップ実行

```
./install.sh update
```

リビジョンアップファイルを解凍したディレクトリで実行します。



## 4. （必要に応じて）サービス再起動

※再起動の要否・対象はRevisionUp-ent-X.Y.Z.txtの指示に従ってください。

ベース環境構築およびインストールの手順については、インストールパッケージ同梱のインストールガイドを参照してください。

リビジョンアップおよびサービス再起動の手順については、リビジョンアップファイル同梱のRevisionUp-ent-X.Y.Z.txtの指示に必ず従ってください。

## 作業フロー（ケース2：既存運用環境への適用）

### 1. アップデート実行



```
./install.sh update
```

を実行し、システムにリビジョ  
ンを適用します。

### 2. （必要に応じて） サービス再起動



※再起動の要否・対象は  
RevisionUp-ent-X.Y.Z.txtの指示  
に従ってください。

リビジョンアップおよびサービス再起動の手順については、リビジョンアップファイル同梱のRevisionUp-ent-X.Y.Z.txtの指示に必ず従ってください。



## 完了後の事後確認

メンテナンスツールへログインし、アップデートが正常に反映されたか目視確認を行ってください。

<https://{PassLogicサーバーFQDN}:12443/passlogic-maintenance/>



## トラブルシューティング（正常に終了しなかった場合）

作業中にエラーが発生した場合は、速やかに以下の情報を取得し、サポート窓口までご連絡ください。




### 取得が必要な情報

1. 発生した正確なエラーメッセージの記録
2. テクニカルサポートファイルの取得

サポートファイルの取得手順はこちら

[https://passlogic.jp/ent\\_support/ent\\_getfile/](https://passlogic.jp/ent_support/ent_getfile/)

### お問い合わせ先

 PassLogic サポート窓口

お問い合わせ窓口は、ライセンス購入証書に記載の窓口をご確認ください。



すべてのリビジョンアップ工程が完了しました。  
最新のPassLogic環境にて、引き続き安全なシステム運用をお願いいたします。

運用中のご不明点や技術的なご相談は、いつでも専任サポートまでお問い合わせください。  
※お問い合わせ窓口は、ライセンス購入証書に記載の窓口をご確認ください。